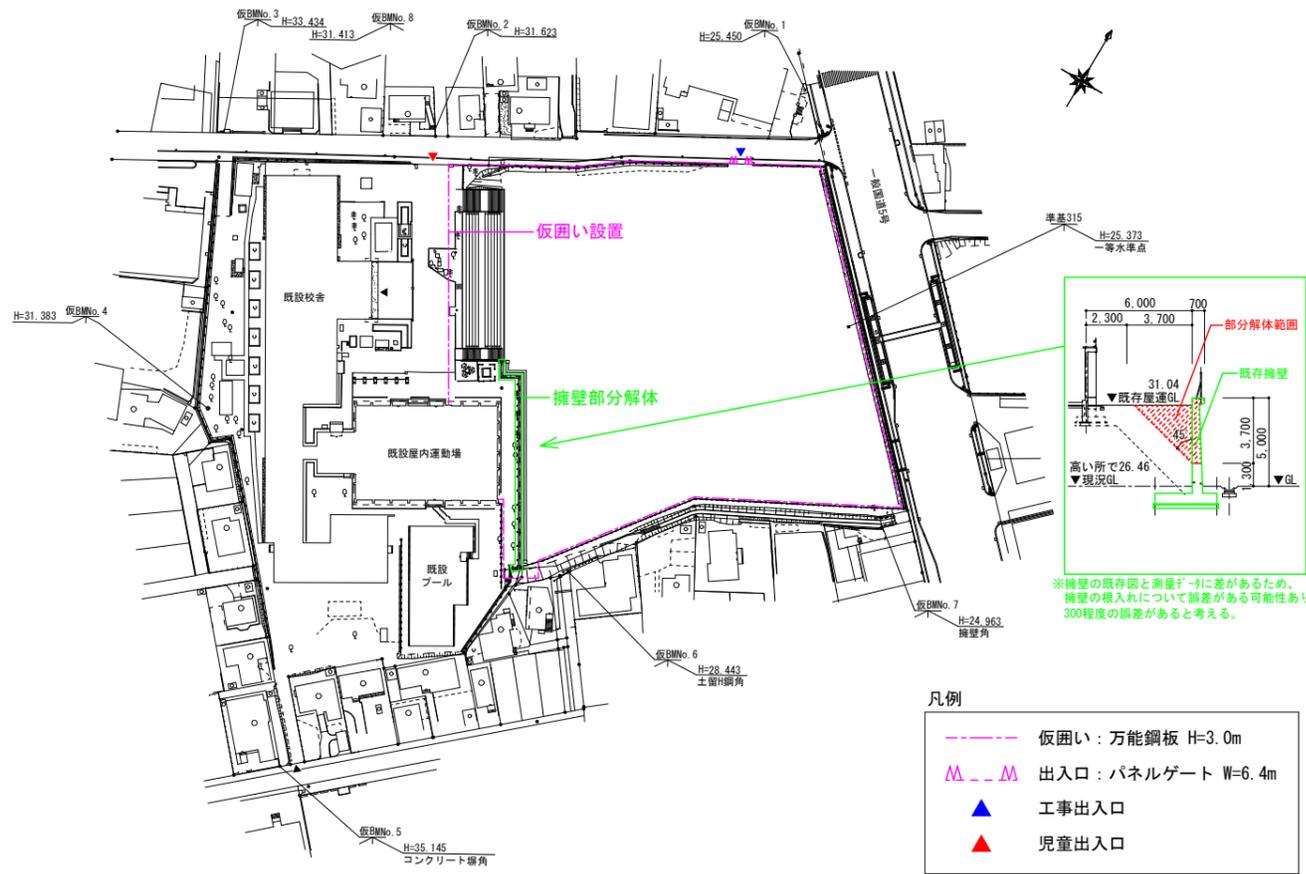
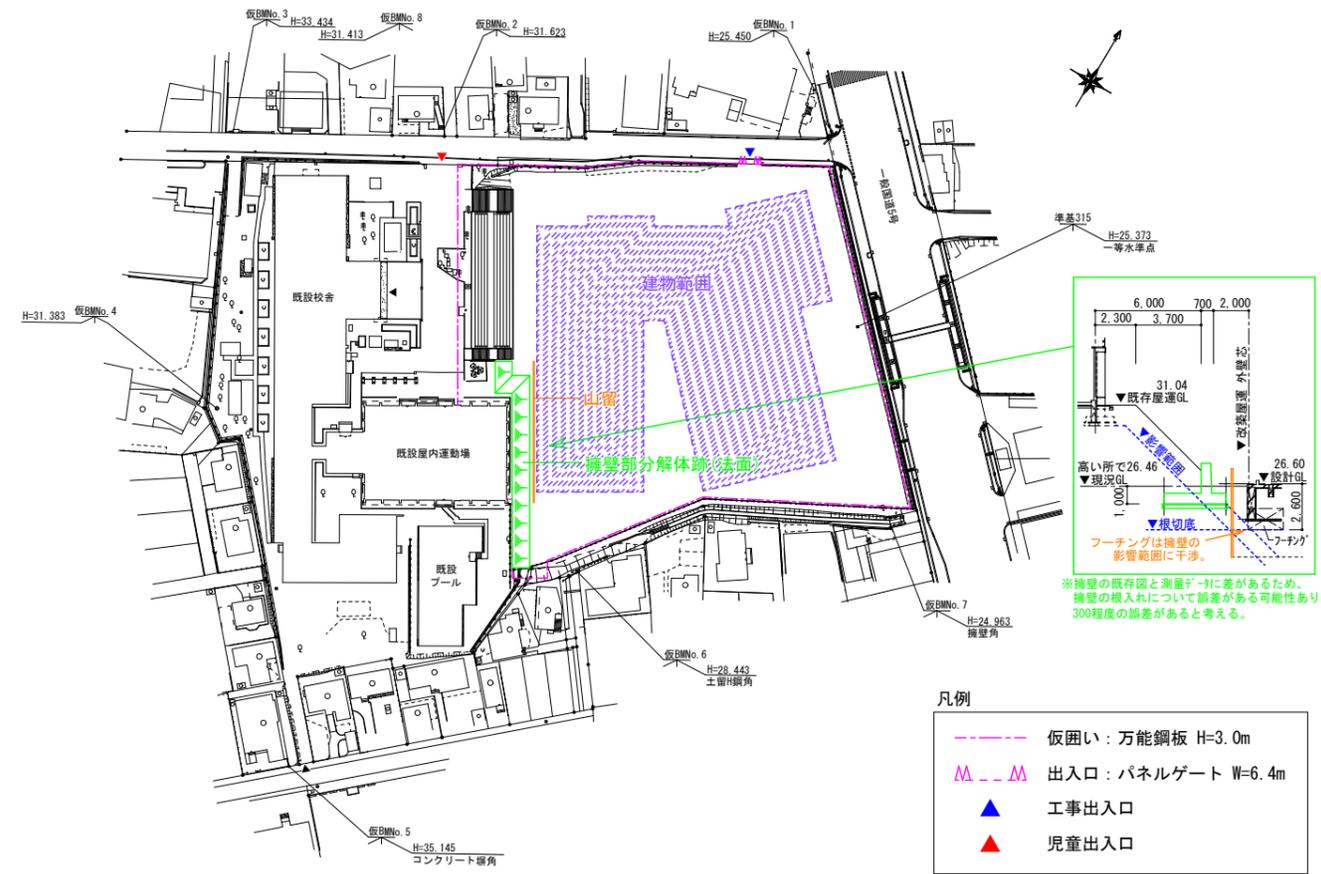


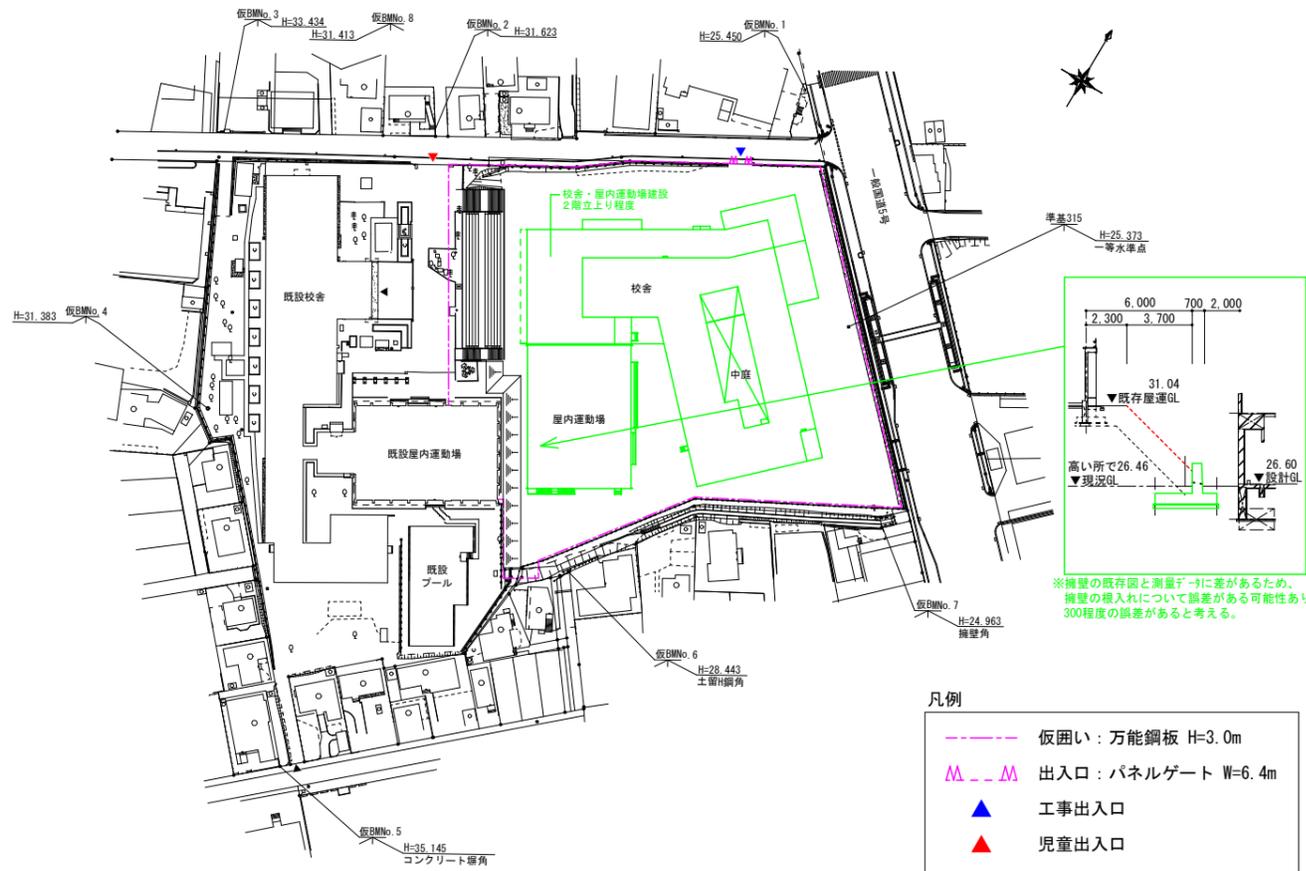
1. 仮囲い・擁壁部分解体



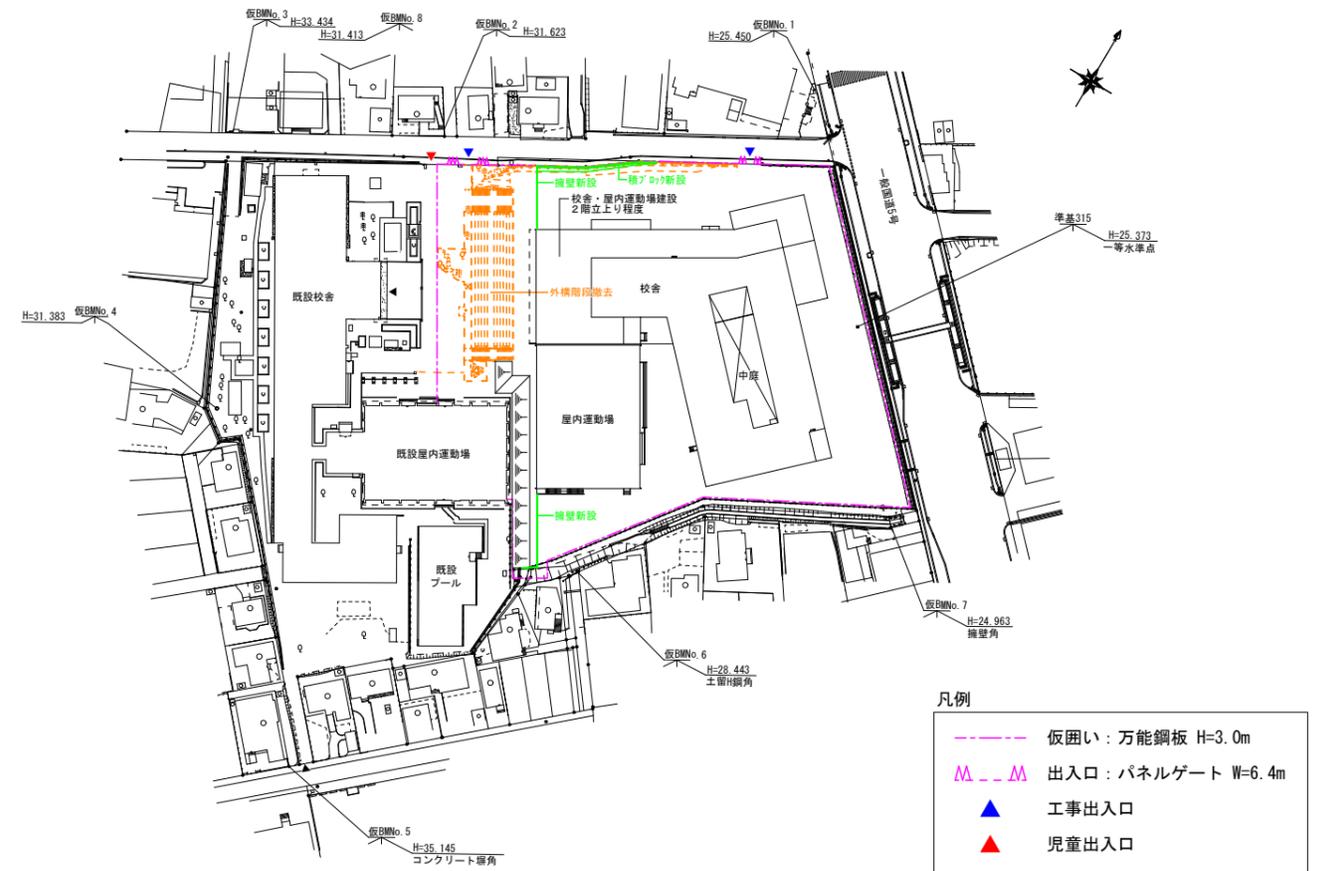
2. 山留・杭工事・根切



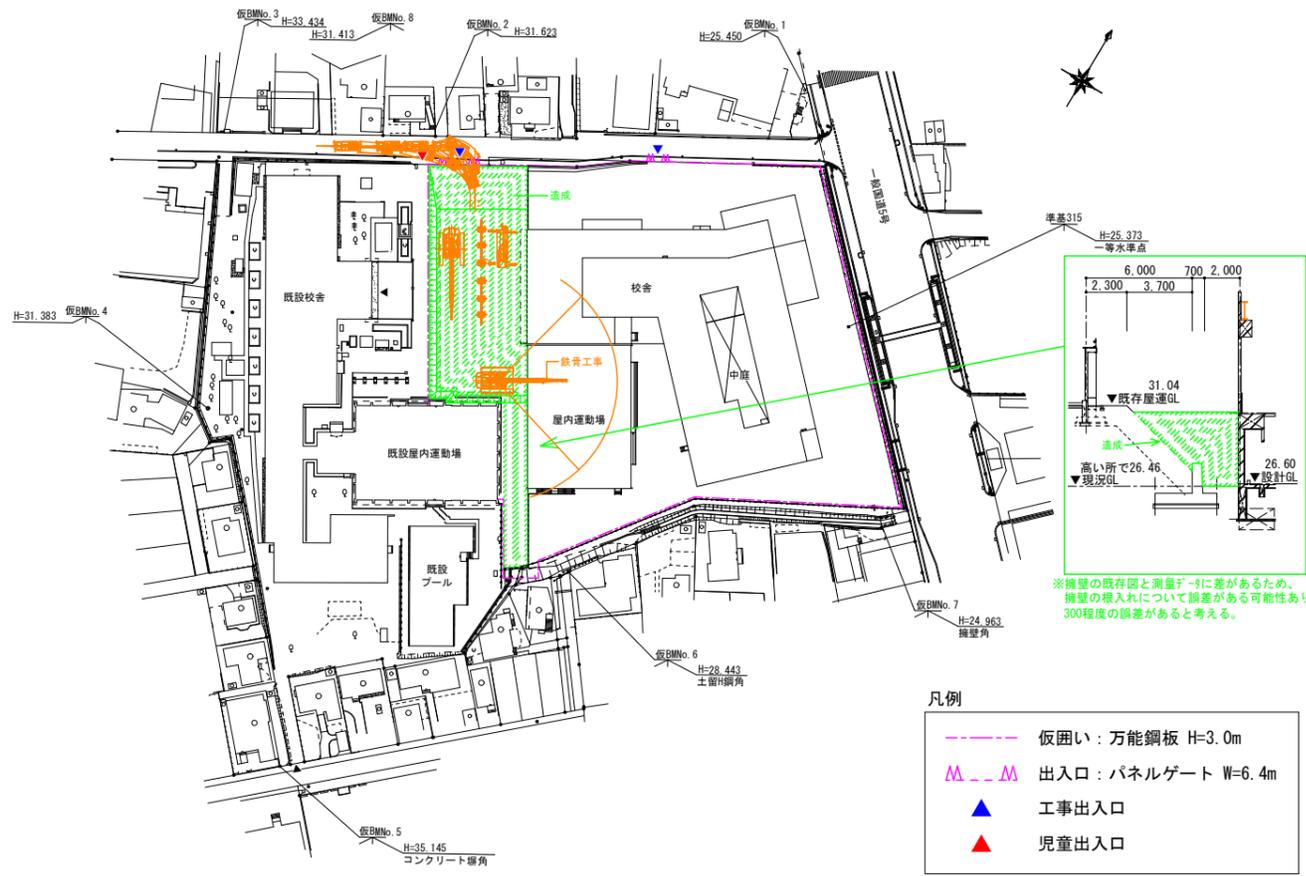
3. 校舎・屋内運動場建設



4. 擁壁新設・外構階段撤去



5. 仮造成・屋内運動場鉄骨工事



6. 建物完成・外構工事



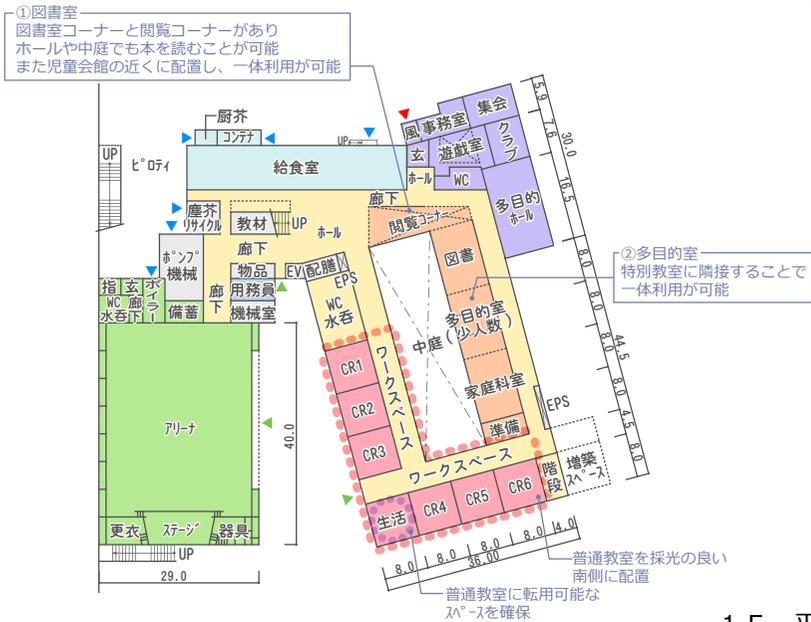
7. 既設建物解体



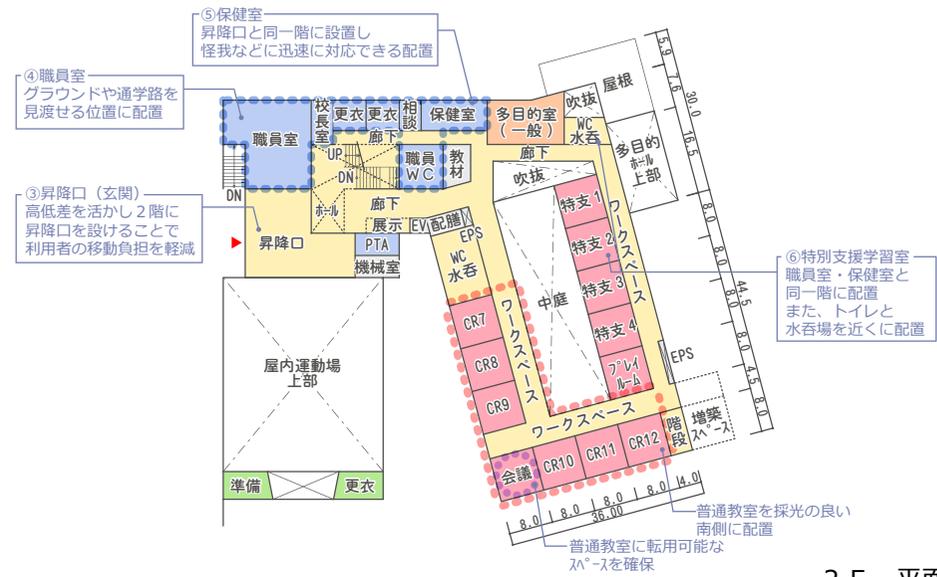
8. グラウンド工事



■各階平面図（S=1/1000）



1 F 平面図



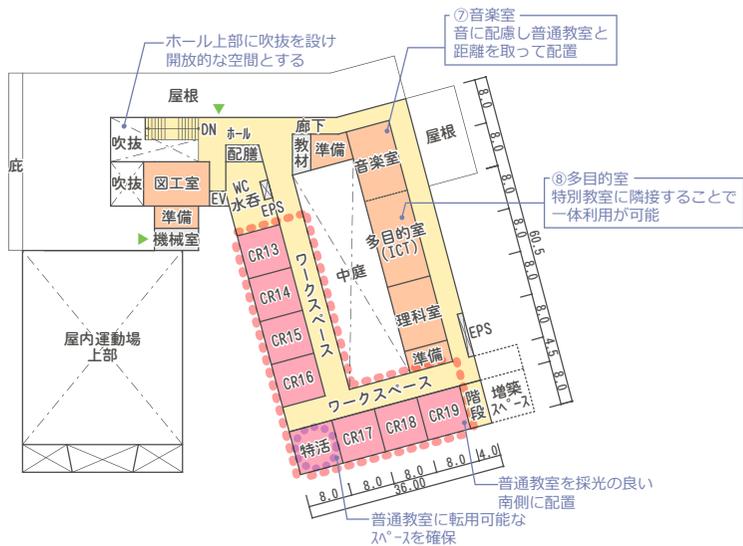
2 F 平面図

●共通事項

- ・校舎中央に中庭を計画し、採光や風通しの良い位置に普通教室を配置
- ・普通教室を学年ごとにゾーン分けし、特別教室はまとめて配置
- ・教室と一体的に利用可能なワークスペースを設け多様な学習形態に対応する
- ・回遊性があるため、動線がスムーズになり移動距離が短くなる

凡例

- | | | | |
|--|--------------|--|----------|
| | 普通教室・特別支援学習室 | | 児童会館 |
| | 特別教室・多目的室 | | その他 |
| | 管理諸室 | | 児童動線 |
| | 共用スペース | | 車両動線 |
| | 屋内運動場 | | メンテナンス動線 |
| | 給食室 | | |



3 F 平面図

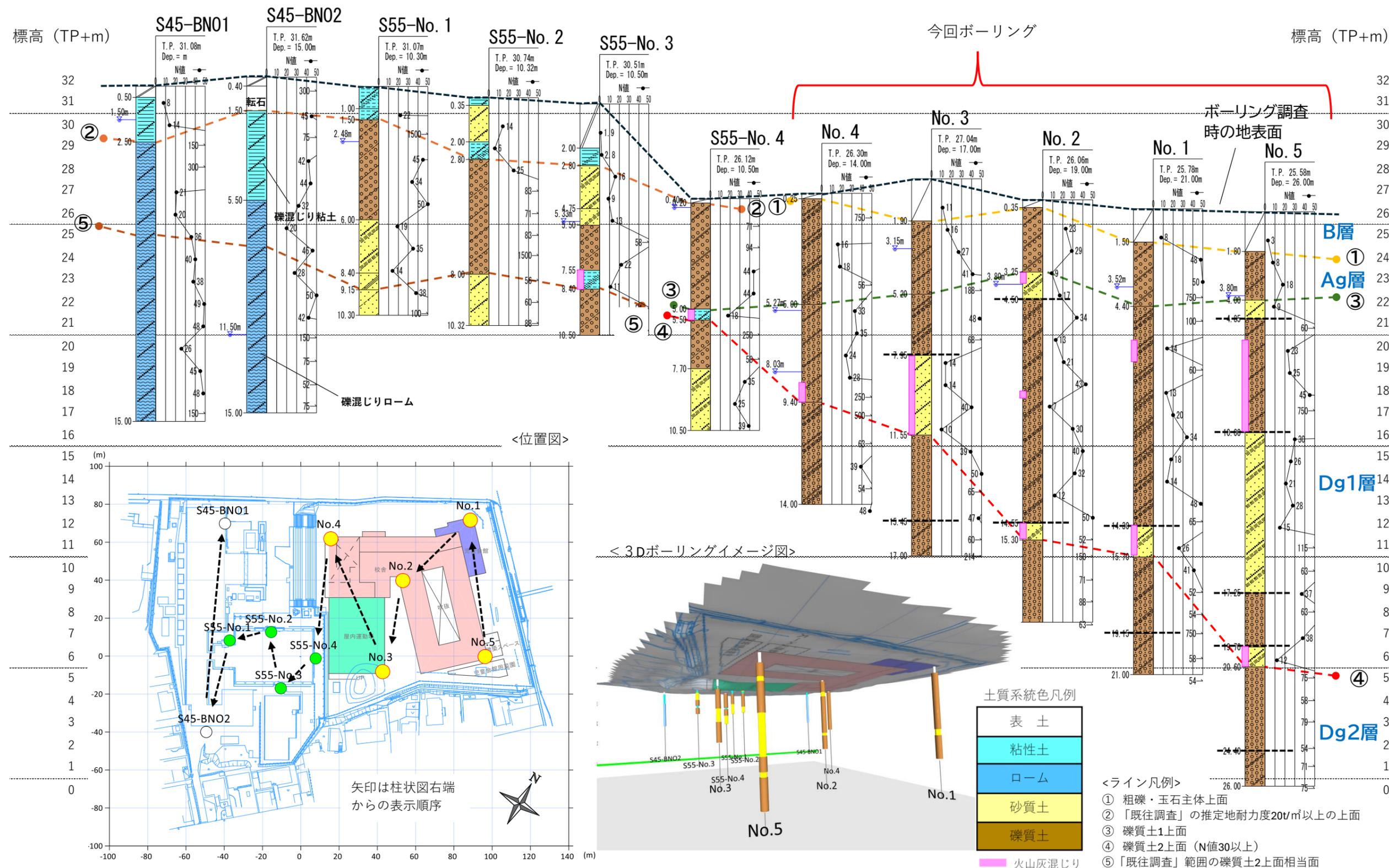


図 6-1 柱状対比図

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名 手稲中央小学校地質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 1	調査位置	北海道札幌市手稲区手稲本町3条2丁目1番11			北緯	43° 6' 59.4185"							
発注機関	札幌市都市局建築部建築工事課			調査期間	令和6年11月29日～令和6年12月6日			東経	141° 14' 30.8730"					
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者							
孔口標高	T.P. 25.78m	角			方位			地盤勾配			使用機種	東邦地下工機D-0		
総削孔長	21.00m		度			エンジン	ヤンマーNFD12		ポンプ	東邦地下工機GB-2				

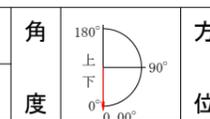
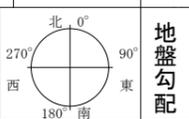
標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原 位 置 試 験	試料採取			室 内 試 験	削 孔 月 日	
											深 度 (m)	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	N 値		深 度 (m)	試料番号	採取方法			
1	24.28	1.50	1.50		表土	暗褐色	rd2		深度0~0.2m: グラウンド用砂。 深度0.2~0.55m: 腐植土を含む礫、碎石混じり土砂。 深度0.55~1.5m: 明褐色の礫混じり土砂。粘性は弱く、比較的均質。	3.52	8	1.15	3	2	3	8	1.00	S1-1	○	土粒子密度・含水比・粒度	
2					玉石混じり礫	褐色	rd4		粗礫・石分が70~80%を占める玉石混じり土砂。 最大礫径は10cm程度。混入礫は硬質の安山岩(礫種は含石英角閃石輝石安山岩で、以下、特記しない限り各層共通)が多く、中には赤褐色の粗粒の安山岩も含む。基質は砂質シルト。		48	1.45	10	14	24	48	1.50	S1-2	○	土粒子密度・含水比・粒度	
3											50	2.45	20	12	18	50	2.50	S1-3	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/29
4	21.38	2.90	4.40								750	3.45	50		50	3.50					
5					玉石混じりシルト質砂礫				1mあたり1つないし2つの玉石を含む砂礫層。最大礫径は約15cmで、石分混入率は20%程度。 基質の層相は一概ではなく、部分的にφ1~3cm程度の礫優勢部や砂優勢部を挟む。		100	5.00	15	35	50	50	4.70	S1-5	○	土粒子密度・含水比・粒度	
6									以下、基質部の大まかな層相区分。		14	6.15	3	7	4	14	5.15	S1-6	○	土粒子密度・含水比・粒度	
7									深度4.4~5.0m: シルト質砂。礫は比較的少ない。		60	6.45	2	6	42	50	6.00	S1-7	○	土粒子密度・含水比・粒度	
8									深度5.0~6.0m: 砂質シルト。深度5.4m以深では基質部の粘性がやや強くなる。		13	7.15	2	6	42	50	6.50	S1-8	○	土粒子密度・含水比・粒度	12/02
9									深度6.0~7.0m: 凝灰質シルト。礫が少ない。		20	7.40	4	7	9	20	7.00	S1-9	○	土粒子密度・含水比・粒度	
10									深度7.0~8.8m: 砂混じりシルト。		34	8.15	3	3	7	13	7.40	S1-10	○	土粒子密度・含水比・粒度	
11									深度8.8~11.7m: シルト質砂。		18	8.45	4	4	6	14	8.00	S1-11	○	土粒子密度・含水比・粒度	
12									深度11.7~14.3m: 砂混じりシルト。		14	9.15	4	7	9	20	8.50	S1-12	○	土粒子密度・含水比・粒度	
13											48	9.45	8	18	22	48	9.00	S1-13	○	土粒子密度・含水比・粒度	
14	11.48	9.90	14.30		礫混じりシルト質砂	灰褐色	rd3		深度14.3~14.8mは黄褐色の火山灰質シルト。淘汰は良く、粘性は弱い。ラミナ構造あり。 深度14.8~15.7m: 比較的淘汰の良いシルト質細砂。		65	10.15	11	8	15	34	9.50	S1-14	○	土粒子密度・含水比・粒度	
15											26	10.45	9	17	24	50	10.00	S1-15	○	土粒子密度・含水比・粒度	12/05
16	10.08	1.40	15.70		シルト質砂礫	灰~灰褐色	rd4		φ1~3cm程度の礫を多く含む淘汰の悪い砂礫。所々に5cm大の礫も混入。		41	12.15	12	11	18	41	10.50	S1-16	○	土粒子密度・含水比・粒度	
17									全体的には良く締まった砂質シルトを基質とするが、部分的に緩い砂層やシルト層を挟む。		52	12.45	11	21	18	90	11.00	S1-17	○	土粒子密度・含水比・粒度	
18											54	12.50	2	7	41	50	11.50	S1-18	○	土粒子密度・含水比・粒度	
19	6.63	3.45	19.15								750	17.44	50		50	12.00					
20					玉石混じり砂礫	灰~灰褐色	rd5		玉石やφ1~3cm程度の亜角礫を多く含む淘汰の悪い砂礫。最大礫径は25cmで、粗礫・石分混入率は40%程度。基質はシルト質砂。		58	18.15	21	12	17	50	12.50	S1-20	○	土粒子密度・含水比・粒度	
21	4.78	1.85	21.00								54	18.43	14	17	19	50	13.00	S1-21	○	土粒子密度・含水比・粒度	12/06

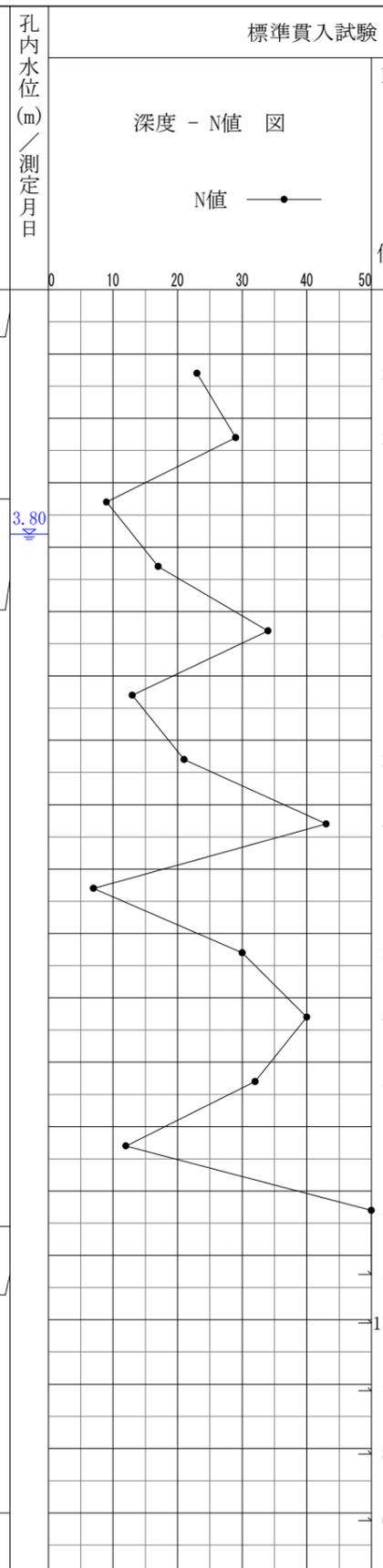
土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名 手稲中央小学校地質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 2	調査位置	北海道札幌市手稲区手稲本町3条2丁目1番11			北緯	43° 6' 57.9403"		
発注機関	札幌市都市局建築部建築工事課			調査期間	令和6年12月10日～令和6年12月16日		東経	141° 14' 30.2749"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. 26.06m	角			地盤勾配			使用機種	試錐機 東邦地下工機D-0
総削孔長	19.00m	度			エンジン	ヤンマーNFD12	ポンプ	東邦地下工機GB-2	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深 度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原 位 置 試 験	試料採取		室 内 試 験	削 孔 月 日
											深 度 (m)	試料番号	採取方法	深 度 (m)	試料番号		採取方法			
	25.71	0.35	0.35		表土	暗褐～明褐			グラウンド用砂、腐植土を含む砕石混じり土砂。											
1					玉石混じり礫	褐灰	rd3		粗礫・石分が約70%を占める玉石混じり土砂。最大礫径は30cm程度(掘削により割れて岩片化)。礫は硬質の安山岩が多く(礫種は含石英角閃石輝石安山岩で、以下、特記ない限り各層同じ)、粗粒の斑晶質や寡斑晶質のものが混在する。							1.15	6	7	10	23
2											1.45	9	9	11	29	1.50	S2-2	○	土粒子密度・含水比・粒度	
3	22.81	2.90	3.25		礫混じりシルト質砂	赤褐～灰	rd3		深度3.25～3.85m: 礫混じりの赤褐色を呈する火山灰質細砂。深度3.85～4.5m: 灰色シルト。下位に向かって礫・砂分が増える。シルトは腐植質。混入礫は比較的小さい。	3.80	2.45	6	2	1	9	2.50	S2-3	○	土粒子密度・含水比・粒度	
4	21.56	1.25	4.50		シルト質砂	灰褐	rd3		所々に5cm大の礫を含む砂礫層。φ1～3cmの亜角礫を多く含む。基質は淘汰の悪いシルト質砂で、シルト優勢部と砂優勢部が不規則に出現する。		3.45	4	5	8	17	3.50	S2-4	○	土粒子密度・含水比・粒度	12/10
5									深度5～5.5m区間で現場透水試験(回復法)を試みるが、水位変化がほとんど見られず(平衡水位と約50cmの水頭差に対し、30分間で水位変化1cm未満)試験中止。		4.15	10	14	10	34	4.50	S2-5	○	土粒子密度・含水比・粒度	12/11
6									深度8.65～8.95m: 淡褐色を呈する火山灰質細砂。幅2～5mmのラミナ構造あり。		4.45	5	5	3	13	5.50	S2-6	○	土粒子密度・含水比・粒度	
7									深度12m以深: 礫が比較的多く混入する。		5.15	10	19	14	43	6.50	S2-7	○	土粒子密度・含水比・粒度	
8											6.45	3	2	2	7	7.00	S2-8	○	土粒子密度・含水比・粒度	
9											7.15	2	2	26	30	7.50	S2-9	○	土粒子密度・含水比・粒度	12/12
10											7.45	12	13	15	40	8.00	S2-10	○	土粒子密度・含水比・粒度	
11											8.15	9	12	11	32	8.50	S2-11	○	土粒子密度・含水比・粒度	
12											8.45	3	4	5	12	9.00	S2-12	○	土粒子密度・含水比・粒度	
13											9.15	6	25	19	50	9.50	S2-13	○	土粒子密度・含水比・粒度	
14	11.51	10.05	14.55		シルト質砂	淡褐	rd4		深度14.55～15.3m: 淡褐色を呈する火山灰質のシルト～細砂。幅2～5mmのラミナ構造発達。		9.45	3	17	30	90	10.00	S2-14	○	土粒子密度・含水比・粒度	
15	10.76	0.75	15.30		砂礫	褐灰	rd5		φ1～3cm程度の礫を多く含む淘汰の悪い砂礫。所々に5cm大の礫も混入。基質はシルト混じり粗砂で部分的にシルトや細礫の薄層を挟む。		10.15	2	2	26	30	10.50	S2-15	○	土粒子密度・含水比・粒度	12/13
16											10.45	50				11.00				
17											11.15	22	24	4	50	11.50	S2-17	○	土粒子密度・含水比・粒度	
18											11.45	20	30	50	170	12.00	S2-18	○	土粒子密度・含水比・粒度	
19	7.06	3.70	19.00								12.15	10	30	10	50	12.50	S2-19	○	土粒子密度・含水比・粒度	12/16
											12.21					13.00				
											12.45					13.50				
											13.15					14.00				
											13.45					14.45				
											14.15					15.00				
											14.45					15.30				
											15.15									
											15.44									
											16.00									
											16.10									
											17.00									
											17.21									
											18.00									
											18.17									
											19.00									
											19.24									

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名 手稲中央小学校地質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 3		調査位置	北海道札幌市手稲区手稲本町3条2丁目1番11			北緯	43° 6' 56.4352"							
発注機関	札幌市都市局建築部建築工事課			調査期間	令和6年11月22日～令和6年11月28日			東経	141° 14' 30.9842"						
調査業者名				主任技師			現場代理人								
コア鑑定者			ボーリング責任者												
孔口標高	T.P.	27.04m	角			方位			地盤勾配			使用機種	東邦地下工機D-0		
総削孔長	17.00m		度			度			エンジン	ヤンマーNFD12		ポンプ	東邦地下工機GB-2		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取		室内試験	削孔月日	
											深 (m)	N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	深 (m)		試料番号	採取方法			
1					表土	暗褐	rd3		φ10cm大の玉石を多く含む礫質土。基質は腐植土で一部には金属片、コンクリートガラ混入。粗礫・石分混入率は70%程度。礫は硬質の安山岩が多い(礫種は含石英角閃石輝石安山岩で、以下、特記ない限り各層同じ)。		11	1.15	4	3	4	11	1.00	S3-1	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/22
2	25.14	1.90	1.90		玉石混じり砂礫	褐灰	rd3		φ5~10cmの玉石を所々に含む淘汰の悪い礫質土。基質は粘り気のある砂質礫で粗礫・玉石の混入率は50%程度。	3.15	16	1.45	6	7	3	16	1.50	S3-2	○	土粒子密度・含水比・粒度	
3				27						2.45	8	9	10	27	2.50	S3-3	○	土粒子密度・含水比・粒度			
4				41						3.15	10	10	21	41	3.50	S3-4	○	土粒子密度・含水比・粒度			
5	21.84	3.30	5.20	5.08						4.45	50		50	5.00	80		4.50				
6					玉石混じりシルト質砂礫	褐灰	rd4		玉石優勢部と基質部が10~20cm程の間隔で交互に出現する。基質は砂混じりシルトで、基質に砂優勢部の薄層を所々に挟む。上位層に比べて粘性はやや弱い。	48	6.15	13	16	19	48	6.00	S3-6	○	土粒子密度・含水比・粒度		
7				68						6.45	17	23	10	50	7.00	S3-7	○	土粒子密度・含水比・粒度			
8	19.09	2.75	7.95		礫混じり砂	灰褐	rd3		やや赤みを帯びた火山灰質のシルト質細砂。比較的淘汰は良く、粘性強い。 5cm大の礫を所々に含み、部分的に砂や細礫の薄層を挟む。	14	7.37	4	4	6	14	7.37	S3-8	○	土粒子密度・含水比・粒度		
9				14						8.15	4	4	6	14	8.50	S3-9	○	土粒子密度・含水比・粒度			
10				40						8.45	4	4	6	14	9.50	S3-10	○	土粒子密度・含水比・粒度			
11	15.49	3.60	11.55		砂礫	灰褐	rd4		φ1~3cmの亜角礫を多く含む砂礫。 基質はシルト混じりの粗砂で全体的に良く締まっている。部分的に9cm大の玉石混入。 深度14.4~14.75m:良く締まった砂混じりシルト。 深度14.75~14.85m:細礫層。	10	9.45	11	13	16	40	9.50	S3-11	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/26	
12				39						10.15	3	3	4	10	10.50	S3-12	○	土粒子密度・含水比・粒度			
13				50						11.15	8	12	19	39	11.50	S3-13	○	土粒子密度・含水比・粒度			
14				65						12.15	11	18	21	50	12.50	S3-14	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/27		
15	11.59	3.90	15.45		玉石混じり砂礫	灰褐	rd5		玉石と基質部が交互に現れる礫質土。粗礫・石分の混入率は50%程度、最大礫径は15cm。基質は砂質シルトで、基質優勢部10~30cm区間。	47	13.45	11	28	11	50	13.45	S3-15	○	土粒子密度・含水比・粒度		
16				60						14.00	5	5	37	47	14.00	S3-16	○	土粒子密度・含水比・粒度			
17	10.04	1.55	17.00	214						14.23	17	21	12	50	14.23	S3-17	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/28		

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名 手稲中央小学校地質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 4	調査位置	北海道札幌市手稲区手稲本町3条2丁目1番11			北緯	43° 6' 57.9143"			
発注機関	札幌市都市局建築部建築工事課			調査期間	令和6年12月17日～令和6年12月20日			東経	141° 14' 28.3483"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者				
孔口標高	T.P. 26.30m	角度	方位		地盤勾配	使用機種	試錐機 東邦地下工機D-0			
総削孔長	14.00m	度	位		水平	エンジン	ポンプ	ヤンマーNFD12 東邦地下工機GB-2		

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取			室内試験	削孔月日				
											深度 (m)	N値	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量		深度 (m)	試料番号	採取方法						
0	26.05	0.25	0.25	表土	表土	灰褐			グラウンド用砂、腐植土を含む砕石混じり土砂。		標準貫入試験 深度 - N値 図 N値 ●													
1				玉石混じりシルト質砂礫	玉石混じりシルト質砂礫	灰褐			最大礫径20cmの玉石を含む礫質土。粗礫・石分混入率は50%程度で、礫種は硬質の安山岩が多い(含石英角閃石輝石安山岩で、以下、特記しない限り各層共通)。基質は砂混じりシルトで、深度2.5m以深ではシルト質砂となる。	12/19 5.27	1.10	50	20	50							12/17			
2			2.15								6	6	4	16	2.00	S4-2	○	土粒子密度・含水比・粒度						
3			2.45												3.50	S4-3	○	土粒子密度・含水比・粒度						
4			3.15								2	5	11	18	3.50	S4-4	○	土粒子密度・含水比・粒度						
5	21.30	4.75	5.00	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫	灰褐	rd3		1mに1つないし2つのφ5~10cmの玉石を含む。玉石間はφ1~3cm垂角礫を多く含む淘汰の悪いシルト質砂。混入礫には赤褐色の粗粒安山岩も含む。 深度5m前後で出現した初期水位は掘進に伴いなくなり、含水の低い土質が続く。掘進作業中、深度8m付近で再び清水位が現れる(翌朝水位GL-8.03m)。 深度8.55~9.4mは明褐色の火山灰質シルトを基質とし、その中に玉石を含む礫が混入する。粘性あり。	12/20 8.03	3.45	3	11	36	50	3.50	S4-4	○	土粒子密度・含水比・粒度					
6			4.00												4.27									
7			5.15								11	8	14	33	5.50	S4-5	○	土粒子密度・含水比・粒度						
8			5.45												6.15									
9			6.15								8	15	12	35	6.50	S4-6	○	土粒子密度・含水比・粒度						
10			6.45												7.15									
11			7.15								3	10	11	24	7.50	S4-7	○	土粒子密度・含水比・粒度						
12			7.45												8.15									
13			8.15								7	10	11	28	8.50	S4-8	○	土粒子密度・含水比・粒度						
14			8.45												9.15									
15	16.90	4.40	9.40	玉石混じりシルト質砂礫	玉石混じりシルト質砂礫	灰褐	rd5		1mに1つないし2つのφ5~10cmの玉石を含む。玉石間はφ1~3cmの垂角礫を多く含む淘汰の悪い砂質シルト。上位層に比べ、玉石間の基質は硬く締まっている。 深度12m付近からは含水がやや多くなり、部分的には淘汰の良い砂の薄層を挟む。		9.21	50	30	50	9.21	S4-9	○	土粒子密度・含水比・粒度						
16			10.00												10.03									
17			11.15								12	18	20	50	11.00	S4-11	○	土粒子密度・含水比・粒度						
18			11.39												12.15									
19			12.15	12	15	12	39	12.50	S4-12	○	土粒子密度・含水比・粒度													
20			12.45					13.15																
21			13.15	9	20	21	50	13.43	S4-13	○	土粒子密度・含水比・粒度													
22			14.15					14.15																
23			14.45	8	20	20	48	14.45	S4-14	○	土粒子密度・含水比・粒度													

土質ボーリング柱状図(標準貫入試験)

調査名 手稲中央小学校地質調査

事業名または工事名

調査目的及び調査対象 建築 構造物基礎

ボーリング名	No. 5	調査位置	北海道札幌市手稲区手稲本町3条2丁目1番11			北緯	43° 6' 57.5568"			
発注機関	札幌市都市局建築部建築工事課			調査期間	令和6年11月12日～令和6年11月21日			東経	141° 14' 32.8223"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	T.P. 25.58m	角			方位			使用機種	試錐機 東邦地下工機D-0	
総削孔長	26.00m	度			エンジン	ヤンマーNFD12		ポンプ	東邦地下工機GB-2	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験	試料採取		室内試験	削孔月日	
											深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	N値		深	採取方法			
1	23.78	1.80	1.80	表土	暗褐	rd1			深度0～0.8m: 草根混じり腐植土、玉石、中粒砂、碎石層。 深度0.8～1.8m: φ5cm大の風化岩を含む礫混じり土砂。深度1.75m付近に厚さ5cmの腐植土層を挟む。	3.80	N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	N値	深	採取方法	室内試験	削孔月日	
2	21.58	2.20	4.00	玉石混じり砂礫	灰褐	rd3			φ5～10cmの玉石を所々に含む砂礫。礫混入率は50～80%程度。混入礫は硬質の安山岩が多いが、所々にプロピライトの岩片も含む(礫種は含石英角閃石輝石安山岩で、以下、特記しない限り各層共通)。深度2.5m付近までの基質はシルト混じり砂で粘性は弱い。それ以深の基質はやや赤みを帯びたシルト質砂で含水やや多い。	3.80	3	1.15	1 1 1	3	1.00	S5-1	○	土粒子密度・含水比・粒度		
3	20.73	0.85	4.85	礫混じり砂	灰褐	rd2			所々にφ1～3cmの亜角礫を含む淘汰の良い中粒砂。含水多く緩い。	3.80	8	1.45 2.15	1 1	6	8	1.50 2.00	S5-2	○	土粒子密度・含水比・粒度	
4	20.73	0.85	4.85	玉石混じり砂礫	灰褐	rd3			φ5cm大の玉石を多く含む砂礫。最大礫径は10cm。礫混入率は40～50%程度で玉石の礫種は硬い安山岩。 深度5.8m付近までの基質はシルト質砂。深度5.8m以深の基質はやや赤みを帯びた凝灰質砂で粘性は弱い。 礫部と基質部で硬軟が顕著で、それらの優勢区間が不規則に出現する。 深度7～8mは礫が比較的少なく基質部主体。	3.80	18	2.45 3.15	8 5 5	18	2.50 3.00	S5-3	○	土粒子密度・含水比・粒度		
5	15.58	5.15	10.00	礫混じりシルト質砂	灰褐	rd3			φ1～3cmの亜角礫を所々に含む淘汰の悪いシルト質砂。基質部には所々に5mm程度の軽石混入。 深度12m付近まではシルト混じり砂が主体。それ以深は漸移的にシルト分が増え、深度12.5～14mではシルト分が優勢。 深度11.65m、11.8mに7cm大の玉石、深度13.95mにφ3cmの軽石混入。 深度14.75～15.3mは玉石を含む礫の多い区間。 深度15.3～16.15mは淘汰の良いシルト混じり粗砂。 深度16.15mからは礫分がやや増え、深度16.75mからは礫分が優勢。	3.80	9	3.45 4.15	4 3 2	9	3.50 4.00	S5-4	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/12	
6	8.33	7.25	17.25	砂礫	灰褐	rd4			φ1～3cm程度の礫を多く含む淘汰の悪い砂礫。基質はシルト質砂。 最大礫径は5cm程度で礫種は緑色を帯びた硬い安山岩。粗礫混入率は10～20%程度。	3.80	60	4.45 5.15	16 22	12 50	50 250	4.50 5.00	S5-5	○	土粒子密度・含水比・粒度	
7	5.88	2.45	19.70	砂礫	灰褐	rd4			φ1～3cm程度の礫を多く含む淘汰の悪い砂礫。基質はシルト質砂。 最大礫径は5cm程度で礫種は緑色を帯びた硬い安山岩。粗礫混入率は10～20%程度。	3.80	23	5.40 6.15	14 5 4	23	5.40 6.00	S5-6	○	土粒子密度・含水比・粒度		
8	4.98	0.90	20.60	礫混じりシルト質砂	灰褐	rd3			比較的淘汰の良い火山灰質細砂。粘性あり。	3.80	25	6.45 7.15	11 9 5	25	6.50 7.00	S5-7	○	土粒子密度・含水比・粒度		
9	4.98	0.90	20.60	砂礫	灰褐	rd4			比較的淘汰の良い火山灰質細砂。粘性あり。	3.80	45	7.45 8.15	21 19 5	45	7.50 8.00	S5-8	○	土粒子密度・含水比・粒度		
10	1.18	3.80	24.40	玉石混じり砂礫	灰褐	rd3			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	75	8.45 9.00	50 20	50 20	8.50	S5-9	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/13	
11	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	30	10.15 10.45	11 12 7	30	10.00 10.50	S5-10	○	土粒子密度・含水比・粒度		
12	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	26	11.15 11.45	8 8 10	26	11.50 12.00	S5-11	○	土粒子密度・含水比・粒度		
13	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	21	12.15 12.45	6 7 8	21	12.50 13.00	S5-12	○	土粒子密度・含水比・粒度		
14	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	28	13.15 13.45	9 9 10	28	13.50 14.00	S5-13	○	土粒子密度・含水比・粒度		
15	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	15	14.15 14.45	8 3 4	15	14.50 15.00	S5-14	○	土粒子密度・含水比・粒度		
16	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	115	15.15 15.28	27 23	50 130	15.50 16.00	S5-15	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/14	
17	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	63	16.15 16.39	14 21	15 40	50 240	16.39 16.90	S5-16	○	土粒子密度・含水比・粒度	
18	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	37	17.15 17.45	3 21 13	37	17.25 17.75	S5-17	○	土粒子密度・含水比・粒度		
19	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	63	18.00 18.24	16 19	15 40	50 240	18.00 18.24	S5-18	○	土粒子密度・含水比・粒度	
20	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	38	19.15 19.45	10 8 20	38	19.00 19.50	S5-19	○	土粒子密度・含水比・粒度		
21	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	12	20.15 20.45	2 4 6	12	20.00 20.50	S5-20	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/19	
22	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	75	21.00 21.20	16 34	50 200	21.00 21.20	S5-21	○	土粒子密度・含水比・粒度		
23	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	58	22.00 22.26	17 18	15 60	50 260	22.00 22.26	S5-22	○	土粒子密度・含水比・粒度	
24	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	79	23.00 23.19	17 33	50 190	23.00 23.19	S5-23	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/20	
25	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	54	24.15 24.43	10 20	20 80	50 280	24.00 24.43	S5-24	○	土粒子密度・含水比・粒度	
26	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	71	25.00 25.21	20 27	3 10	50 210	24.43 25.00	S5-25	○	土粒子密度・含水比・粒度	11/21
27	1.18	3.80	24.40	砂礫	灰褐	rd4			混入礫はφ1～3cmの角礫が主体。最大礫径は7cm。φ5cm以上の礫混入率は20%程度。	3.80	26.00	18 32	50	260	25.21 26.00	S5-26	○	土粒子密度・含水比・粒度		

(No. 5)

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験					原位置試験	試料採取			室内試験	削孔月日
											N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数				打撃ごとの貫入量	深度 (m)	試料番号		
25					玉石混り砂	褐灰	rd5		入率は50%程度。 基質はシルト質砂で部分的に砂の薄層を挟む。				71	25.21						10	210
26	-0.42	1.60	26.00								75	26.00	18	32	50/200		26.00	S5-26	(-)	土粒子密度・含水比・粒度	11/21
												26.20					26.20				